
人は何故生きるのか...

風唄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人は何故生きるのか…

【Nコード】

N4324F

【作者名】

風唄

【あらすじ】

ある知人が私に聞いた「人は何故生きるのだろうか」、とそんな真面目な作品でもないので御了承ください。

ある知人が私に聞いた

「人は何故生きるのだろうか」と

私は答えることが出来なかった

私は別の知人に同じことを聞いた

「人は何故生きるのか」と

知人は答えた

「死にたくないから生きるのだ」と

それも一つの真理だろうとは思うものの、死にたくないから生きる、という答えは何故生きる、という問いの答えに適合していないように思う

それに死にたくないから生きる、なんてただの本能
獣と変わらないではないか、と思う

もっと人間は獣にはない崇高な生きる意味を持っていないのだろうか

私は色々な人に聞いた

返ってくる答えは様々であった

家族、金、名誉etc…

しかし、私は人々に問いているうちにある仮説に達した

「人は惰性で生きているのではないか」と

沢山の宗教家や哲学者は多種多様な結論を出したとは思いますが私は確信した

「人は惰性で生きている」と

よくよく考えてみれば地球も惰性で回っているのだ

「私は惰性で生きている」と高らかに宣言してもなんら恥ずべきことはあるまい

つまり結局のところ生きる意味など大して無いわけだ

将来の為になにかをする、生きる為になにかをする

そついうのは後付けの理由に過ぎないのだろう

必要最低限生きるためには刑務所にでも入れれば最低限の衣食住は保証される

道德的問題など生きることになれば瑣事ではないだろうか

実際は皆、どこかの誰かが作ったレールの上を流されているだけなのだろう

そこに自分の意志など殆ど存在しない筈だ

そんな惰性で出来ている人生など必要なのだろうか
それで生きていると言えるのだろうか

私は敢えて、そのレールから離れ人生について考えてみたいと思う

レールの上で流されるだけで人は生きている、と言えるのか、と

ある二ートの言い訳

（後書き）

お読みいただき感謝です。とりあえずジャンル間違えた気がします
… 何となーくノリで書いた作品でした（苦笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4324f/>

人は何故生きるのか...

2010年10月24日01時52分発行